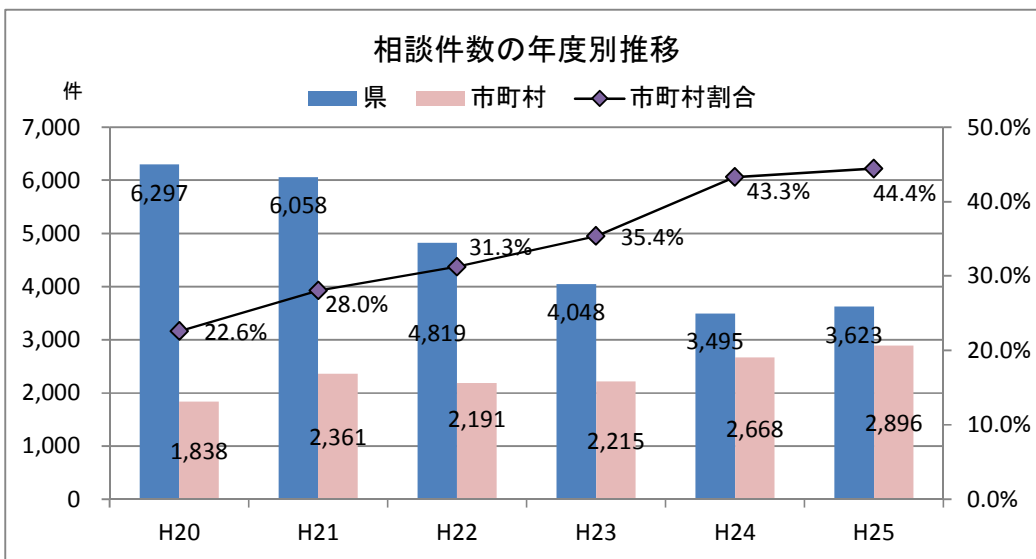


平成25年度消費生活相談の概要について

平成26年5月21日
消費生活センター

1 概況

- 県の平成25年度相談件数は3,623件で、前年度比で3.7%（128件）増加した。
…H15年度の12,999件をピークに減少傾向が続いていたが、10年ぶりに増加。
- 市町村窓口での相談件数は2,896件で、件数・割合とも着実に増加している。（前年度比8.5%（228件）の増）。
…身近な相談窓口として市町村への相談が徐々に定着化している。（H25市町村割合44.4%）
- 高齢層（60歳以上）の相談件数及び相談割合がさらに増加した。
…前年度比で14.6%（182件）増加。前年度同様、健康食品に関する相談が1位（166件）。
- 多重債務及び架空請求の相談は概ね沈静化の傾向である。
…多重債務相談はH20の1,197件をピークに、H25は195件で前年度比13.3%（36件）の減。
…架空請求相談はH15の5,567件をピークに、H25は161件で前年度比17.9%（35件）の減。



- 【県の相談内容上位3位】
- ①放送・コンテンツ等
〔アダルト、出会い系等〕
587件（16.2%）
 - ②融資サービス
〔消費者金融等〕
280件（7.7%）
 - ③健康食品
〔送りつけ商法等〕
258件（7.1%）

2 県の年代別相談状況 …高齢層の相談件数及び割合がさらに増加した。

区分	H25 (件)	H25 (%)	H24 (件)	H24 (%)	差引 (ポイント)
19歳以下	23	(0.6)	24	(0.7)	△1 (△0.1)
20歳代	204	(5.6)	181	(5.2)	23 (0.4)
30歳代	409	(11.3)	467	(13.4)	△58 (△2.1)
40歳代	619	(17.1)	602	(17.2)	17 (△0.1)
50歳代	682	(18.8)	708	(20.2)	△26 (△1.4)
60歳代	656	(18.1)	614	(17.6)	42 (0.5)
70歳以上	770	(21.3)	630	(18.0)	140 (3.3)
不明	260	(7.2)	269	(7.7)	△9 (△0.5)
計	3,623	(100.0)	3,495	(100.0)	128 (0.0)

【高齢層（60歳以上）に係る 県の相談内容上位3位】

順位	相談内容	件数 (割合)
1	健康食品	166 (11.6%)
2	放送・コンテンツ等	91 (6.4%)
3	融資サービス	90 (6.3%)

3 今後の取組

消費者被害を未然に防止するため、市町村や関係機関等と連携しながら消費者教育・啓発をさらに充実する。

- (1) 県庁関係各課や関係団体等と連携し、総合的かつ一体的に消費者教育を展開するための体制を整備する。
- (2) 市町村と共同したNPOへの業務委託の中で、相談業務だけでなく公民館単位での啓発講座などを実施する。
- (3) 新聞・ラジオ等での啓発・広報、街頭キャンペーン等で高齢者への注意喚起のチラシを配布する。
- (4) 市町村と連携し、地域消費生活サポーターによる地域に密着した取組を支援する。